

第6回流山市医師会市民公開講座

地域づくり指標に基づいた 健康なまちづくり 健康格差社会の「見える化」と対策



現在、国として「介護予防・日常生活総合事業」が開始され、地域での支え合い体制作りが推進されています。流山市でも今年度から、支え合いサロン等の取り組みが始まりました。

一方で、地域社会や経済状況など、背景のちがいによる集団間の健康状態の差が生じています。近藤克則教授は、この「健康格差」にいち早く注目され、全国各地の地域診断に基づき、地域の課題を明らかにし、効果的な対策を提案しています。

今回は、まず流山市から、市の健康増進事業について報告していただきます。

次いで、近藤教授の講演で、地域ごとに独自の対策を検討する視点をいただき、市民参加の積極的な地域健康づくりに役立てるよう企画しました。

市民の皆さんの積極的なご参加をお願い申し上げます。

講師

千葉大学 予防医学センター
社会予防医学研究部門

教授 近藤 克則



2015

10月18日(日)

14:00～15:40

〈開場〉13:30 〈開演〉14:00 〈終演予定〉15:40

流山市文化会館 大ホール

流山市からの報告

『2025年に向けたまちづくりによる介護予防』

※聴覚障害の方への手話通訳、要約筆記も行います。

入場無料

定員▶ 先着800名

★入場申込みは不要です。



会場
案内図

流鉄流山線「流山駅」下車徒歩約10分

京成バス「文化会館入口」下車徒歩約3分

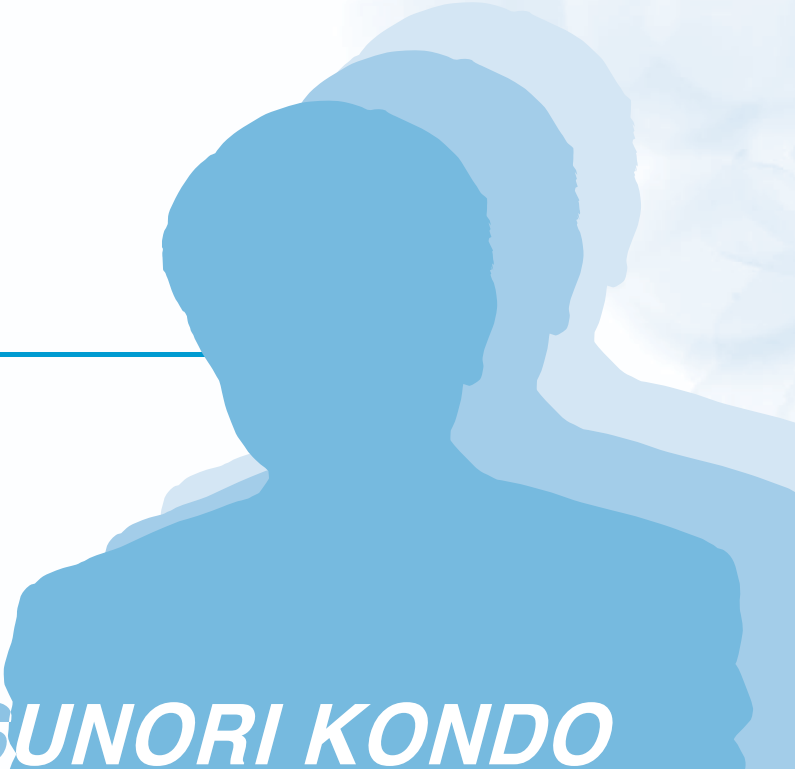
東武バス「加2丁目」「加2号公園前」下車徒歩約4分

※駐車場が利用できますが、台数に限りがありますので、公共交通機関でのご来場にご協力ください。

PROFILE

千葉大学 予防医学センター
社会予防医学研究部門

教授 近藤 克則



KATSUNORI KONDO

1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院リハビリテーション部医員、船橋二和（ふたわ）病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury（イギリス）客員研究員（2000-2001）、日本福祉大学教授、2014年4月から現職。

「健康格差社会—何が心と健康を蝕むのか」（医学書院、2005）で社会政策学会賞（奨励賞）受賞。

著 書 — 「『健康格差社会』を生き抜く」朝日新書
朝日新聞出版社、2010（デジタル版あり）